

会議録	
会議の名称	平成23年度第2回清須市地域公共交通会議
開催日時	平成24年2月2日(木) 午前9時30分から
開催場所	新川ふれあいセンター 2階 大会議室
議題	1 開会 2 議事 [報告事項] (1) 清須市コミュニティバスの運行・利用状況について(平成23年度における連携計画事業の進捗状況について) (2) 清須市レンタサイクルの実施状況について (3) アンケートの調査結果について [協議事項] (1) 事業計画に対する実施状況の確認、評価について (2) 清須市地域公共交通戦略の改訂について 3 閉会
会議資料	会議次第、配席図、委員名簿 資料1 コミュニティバスの運行・利用状況概要 資料2 レンタサイクルの実施状況概要 資料3 コミュニティバス利用者、非利用者アンケート調査概要 資料4 事業計画に対する事後評価について 資料5 清須市地域公共交通戦略の改訂に向けた考え方 参考資料1 清須市コミュニティバスの運行・利用状況について
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	1名
出席委員	小澤委員、谷野委員、佐野委員、伊藤委員、加藤(榮)委員、宮崎委員、加藤(博)委員、西尾委員、戸田委員(代理)、渡辺委員(代理)、吉川委員、長崎委員、喜多村委員、彌田委員、柴田委員
欠席委員	前田委員、山田委員、平松委員、永山委員、永田委員
出席者(市)	なし
事務局	(企画政策課) 飯田課長、山口副主幹、鹿島係長、藏城係長、岩田主事
会議録署名委員	谷野委員、佐野委員

## 1 開会

### ● 飯田課長

皆さま、おはようございます。只今から平成23年度第2回となる地域公共交通会議を開会させていただきます。

本日はお足元の悪い中、お集まりいただきまして、大変恐縮でございます。

実は本日の朝から、市役所の私どもの部署に沢山の電話を頂いております。こういった電話かと申しますと、「今日のバスって、ちゃんと走っているの?」とか「予定通り走っているんですか?」といった問い合わせです。市のホームページの方でもご案内をされていて、本日も予定通り、いつもと同じような形で運行させていただいているとご案内させていただいているのですが、先程もちよっと確認をいたしました。オレンジルート・グリーンルート・サクラルートと3つのルートのうち、オレンジとグリーンは定時、予定通りのダイヤで運行できています。サクラルート、春日地区へ行くバスでございますが、これが雪の関係で10分ほど遅れて運行しているということでございます。運行事業者の方となるべく早くダイヤどおりに運行できるように今調整をしております。

当然、滑り止めの対策などは十分にしておりますので、こういった雪の中ではございますが、安心をしてご乗車をしていただきたいと思いますと思っております。

本日のように、コミュニティバスの事業は、自然と密接な関わりがあると申しますか、いかに上手に付き合っていくかということが非常に大事になります。今年度も間もなく終わりですが、東日本大震災、そして10年に一度と言われる本日の大雪と、何か自然災害に振り回されている1年だなと思っております。

また、昨年秋にはですね、台風この清須市周辺にいくつも襲来しました。9月の台風15号の時は、庄内川、新川の水位が警戒水位を突破いたしましたして、初めて清須市全域に避難勧告を発令をするという経験をしました。

そういった避難勧告を発令した時に、バスはどうするのかと申しますと、利用者の方にご案内をして、目的地までお送りし、その後の運行は安全のために休止させていただくというような取り扱いをさせていただきます。

もう1つ台風の時に心配なのは、バス停が風で倒れないかということでございます。私どもの安全基準を申し上げますと、風速約25mに達するとバス停が倒れてしまう危険性があると判断しております。バス停は、下のコンクリートの土台からポールを抜けるようになっています。バス停が倒れるとやはり怪我だとか、近くの物にぶつかって破損してしまう心配があるので、できれば風速25mが予測される時には早くポールを抜いてしまいたいんですが、全市内のバス停のポールを抜こうと思うと、作業に約3時間ぐらいかかってしまう。今度またポールをはめるのにも同じく3時間以上かかる。台風が過ぎ去った後、皆様方からは早く運行開始して欲しいというご要望もお電話等でいただくので、その25mを超えるかどうかという判断も、台風の進路予測などを見ながら、ギリギリのところまで引っ張ってしまうというところがあります。昨年の台風15号の経験から申し

上げますと、全市に避難勧告が出まして、そうすると我々職員は避難所に配置されたりといった災害対策もしなければいけません。ですので、バス停を抜くという作業までなかなか手が回らないというところがございますので、その作業については、実は運行事業者のつばめ自動車の社員の方をお願いをして、車両2台で市内の全部のバス停を抜いていただき、台風が過ぎ去った後にまた戻していただきました。事業者の方にはずぶ濡れになりながら作業していただき、大変ありがたかったです。事業者の方はバスを運行しているだけではなくて、そういった運行サポートもしていただいているということで、ご紹介をさせていただきました。

それでは、会議に入ってまいります。本日の会議の出席状況についてご報告をさせていただきます。今のところ、欠席のご連絡をいただいているのは、山田委員、平松委員。そして私ども副市長の永田が他の公務で欠席をさせていただいておりますので、よろしく願いをいたします。

この会議は、委員の半数の出席があれば成立するとなっておりますので、本日こうした雪の中ではありますが、半数以上の方がご出席でございますので、本日の地域公共交通会議は成立をしております。

次に、代理でご出席いただいている方をご紹介します。

名簿をご覧くださいながらお話を聞いていただきたいと思います。まず、委員区分第4号の愛知県地域振興部交通対策課長の戸田様におかれましては森島様に、愛知県尾張建設事務所維持管理課長の渡辺様におかれましては西山様に代理としてご出席いただいております。どうぞよろしくお願いをいたします。

それでは、これより議事に入りますが、ここで議事運営につきまして、お願いを申し上げます。

会議での発言方法について、発言していただく際には、大変恐縮でございますが、必ず挙手をしていただき、会長の指名を受けた後、係の者がマイクをお持ちしますので、その際、ご自身のお名前を仰っていただき、発言していただくといった形をお願いしたいと存じます。

それでは、この後の議事進行は、会長をお願いするという事になっておりますが、会長が少し遅れるという連絡が入っておりますので、副会長の加藤先生にお許しをいただき、一旦事務局の方で進めさせていただいてよろしいでしょうか。

<加藤副会長の了承>

では私どもの方で、一旦進めさせていただきます。

まず、始めに会議録署名委員の指名をさせていただきたいと思っております。本日の会議の会議録署名委員は、座席順に谷野委員と佐野委員をお願いをしたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

次第をご覧くださいますと、報告事項が3件、協議事項が2件と、少しボリュームが大きくなっております。どうぞスムーズな会議運営にご協力いただきたいと思います。

それでは、まず報告事項でございます。議事、報告事項(1)の清須市コミュニティバスの運行・利用状況について、議事(2)清須市レンタサイクルの実施状況については、一括してご説明をさせていただきます。

この利用状況をご説明する前に、委員さんである西枇杷島警察署の交通課長の方からこの会議の場で是非発言をさせていただきたいとご要望が

ございます。

本来は、会議の後でというようなお話をお聞きしていたんですが、実はこういう雪の状況で、事故等の安全対策で、交通課長さん、この後またすぐ、現場等へ出向かれるということでございますので、今この場でマイクをお預けしたいと思えます。

●吉川委員

西枇杷島警察署交通課長の吉川といいます。日頃、行政関係等でご理解いただきましてありがとうございます。今日はですね、昨日から雪であかんよと言っているのに、ノーマルタイヤを履いてきたり、いろいろ原因はあるんですけども、事故が50件ぐらいあって、未処理がまだ40件ぐらいあって、ちょっと指揮をしないかんもんで、できれば戻ってきて欲しいという話と車両が全然使えない状況で、帰る足もないような状態になっております。雪のときは気をつけましょうということで、こっちに来る時でも自転車で走るのも危ないなと思うのに、片手で傘差して走っている人がいて、あかんよって自殺行為だよっていうくらい急なあれです。東京の方でどうのこうのっていうのもあって。

今日の発言で、提案事項なんですけれども、コミュニティバスというので、あしがるバスが3つのルート走っている。役所だとか、大規模と言うか中規模のスーパーマーケットだとか公共施設だとかいうところを回っておられますよということで、利用者数というのは、どうのこうのではないんですが、そういう拠点を回っている。それで利用者の方も自転車であったり、車を持たないような家庭、主婦であったり、死亡事故の抑止と犯罪抑止の関係でコミュニティバスを使って、こういうような例えば、用意したのがですね、いろいろ方法はあるんですが、これは去年1年間の交通事故発生状況ということで分析をしたというか数値的なものなんですけど、特にアピールしたいのは後ろの方の、高齢者の皆さんへということで、こういって危ないですよということで、場合によっては多発とかそういうのがありましたら、こういうのが関係で事故が多発してますので、気をつけてくださいよとか、引ったくりの事件とか増えてきますので、どうのこうのですよとか。振り込め詐欺の問題だとかの関係で、掲示しておいてもらえると、それでちょっと気になる方は読んでいただきますし、そういう情報提供で、日頃やってる情報提供から漏れるという方が利用される場合もあるし、回覧でも私のところの家でもちょっと恥ずかしながらそうなんですけど、ぱっと見てそう関係なければ黙って判子を押してピッと回しちゃうもんで、内容読むまでもなくて、せっかくお知らせしたいのが回っていないのもありますので、ちょっとでも物は知っとして防止するっていうのは可能なんですけど、知らずに防止するっていうのはなかなか難しいので情報提供の場でコミュニティバスを活用させていただければなど、こういう提案っていうかたちでご理解をしていただければなど。

こういうような活動で市役所さんの方だとか業者さんの方も理由によっては協力させていただきますよと前向きなことを言っておりますので、そのようなかたちでの発信源の1つにでもなるよと、こういうふうなかたちでコミュニティを使う方法もあるよとか。あとは、運行してますよっていうご案内とご理解とを兼ねての時間を頂きたいというかたちです。

あとまた、会議の方でもいろいろ出ると思えますけど、新しくできたバ

ス停の方の関係ですね、当初は中に入れて安全な方法がよりいいですよとなっていたんですが、利用率だとか渋滞率だとか、今のところは中が駄目ということをやるとるわけではないんですけど、ちょっと入り口の道路の整備だとかどうのこうのができないのというような理由から本来の道路上の普通の路線と同じようにバス停を置いて運行しておるよということもご説明あると思いますけど、ケースバイケースでございまして、状況によっては検討しますという但し書きで無事に運行しとる状況でございまして。この先JRの清洲駅、稲沢と隣接しているんですけど、これから市開発の関係でこういうふうになっていくのというかたちになれば、場合によってはそれも条件として考え直す機会も必要になるかなと思ひまして、いろいろ皆さんの便利またはもしくは、せめて清須でも北名古屋でもそうなんですが、駅が少ないものでそういう不便なところから、マイカーの依存性だけでは高齢者も多いですので運転とか、車を維持するのも難しいだとか、駐車場がなかなか無いだとか様々な理由がありますので、また場合によっては、怖いからよう運転せんわという人も免許を持っていますので、なんとかこれを上手に利用してもらって生活を、また場合によってはそのような情報の関係でコミュニティ、本当のコミュニティ、別の部門ですけど、触れ合いたとか絆だとかいう表現でいろいろあると思いますので、有効活用していただければというようなかたちで前向きにこちらの方も進めておるんですが、規制関係だとか評価関係だとかの関係でお国さん、県さんもなかなかずっと会議を出ておりましたけど、ご理解を示しておるようですので、特にこれといった発言をしなくても済むようでお助けしておりますけど、そのような活用をしていただきたいというようなお願いで発言時間をいただきました。大変貴重な時間ありがとうございました。

あとちょっと可能な限り居らせていただいて、申し訳ないんですが大体30分ぐらいは居れると思うんですけど、それ以降は難しいかなと。また携帯もマナーモードにしておきますけど、お尻の辺でプルプルとなりますと現場の方でしびれを切らしておるということですので、ちょっとその時には退席させていただきますのでよろしくお願ひします。ありがとうございました。

●飯田課長

はい、ありがとうございました。今、交通課長の方からご提案がございました。コミュニティバスの車内に、今お手元に回覧させていただいている啓発のリーフレットといったものを、バスのちょうど座席の前にですね、網になっていてそこに物が入れられるようになっているんですが、こういったところに置かさせていただきますと、結構乗ってみえる時間が長いので、その間にご覧いただけるかなと思っております、私ども事務局とか運行事業者さんの方はですね、そういうのを設置していただくことについてですね、実務上なんの支障もないものですから、ここで委員のご賛同がいただければ、早速設置をしてまいりたいと思っておりますが、委員の皆様いかがでございましょうか。特にご異論もないというふうにご判断をさせていただきますのでよろしいでしょうか。

では、そのようなかたちで早速ですね、警察署さんと調整をして設置をして交通安全のPRにも一役も二役もかかっていきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

清須市コミュニティバスの運行・利用状況について（平成23年度における連携計画事業の進捗状況について）、清須市レンタサイクルの実施状況について、資料1「コミュニティバスの運行・利用状況概要」、資料2「レンタサイクルの実施状況概要」に基づき事務局から説明

●飯田課長

ここですら、前回の会議を振り返ってみたいのですが、前回の会議で委員の方から、バス停でバスを待っていたんだけども通過してしまった。また乗車拒否をされたんじゃないかというご意見がございました。

運行事業者に、再度こうした事例が生じないように、強く、市としても要請をしたこととございます。今日は、運行事業者からもそうした状況についてご説明いただけるということとありますので、ここでご発言をしていただきたいと思っております。

●喜多村委員

つばめ自動車の喜多村と申します。よろしく申し上げます。私も前回の会議に出席しておりまして、バスが通過してしまったというご意見がありまして、実態を調査したところです。

暑さ、寒さ、風が強いときなどに、バス停のところに公共施設など屋根があるバス停ですと、お客様がどうも中に入られてバスが来るまで、中に避難しているといったらおかしいのですが、そういうような状況があった。私どものドライバーがバス停に人影がないということで、通過してしまった、気が付かなかったということは確認しております。

私どものドライバーには必ず停車をしろと、普段から走っていただくと乗降数が多いっていうことを結構バスのドライバーは把握しておりまして、でもチラッと見るだけじゃなくて、必ず停車をしろということ是指導して指示しております。今後ともですね、我々も最善にお客様にサービス、お客様の扱いもソフトにサービス改善に努めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。

●事務局（飯田課長）

ありがとうございます。それではですね、この議事（1）と議事（2）の報告については以上でございます。

委員さんの方から、ご意見ですとかご質問等がございましたら、是非ご発言を頂戴したいと思いますと思いますが、いかがでございましょうか。

●佐野委員

佐野でございます。レンタサイクルの件で、ちょっとお話をさせていただきます。3箇所とも受付場所とか、きちんと整備がされておりまして、数十台用意されておりまして、ラミネートされた案内等も作成されておりまして、残念だなと思いましたが、このレンタサイクルについての広報というのがされていない。一昨年の9月以降の広報を調べてみたのですが、ドラマ館とかあしがらるバスについては度々掲載をされましたけれども、このレンタサイクルについては、広報には載っておりませんでして、昨年末、年末年始のお知らせで休みますとついでにただけなんです。それで、この事業効果として賑わいの創出とか、環境負荷削減という大変いい内容のレンタサイクルをやはりきちっと広報に載せるということが大

事かなと思いました。それで、先回のアンケートにも市内の方々に実証結果を知らせ、次年度の商品開発、PR活動など、知恵と情報を共有し、発展してもらいたいと思っておりますというアンケートの回答がありました。私は大変良いことだなと思っております。私の見過ごしかもしれませんが、一応3月までが実験期間で、もし本格事業としてされるということであれば、このレンタサイクルの状況を一度広報にも載せて、市民の皆さんに周知するというのも大事ではないかというふうに思いました。

●事務局（飯田課長）

はい、事務局の方からお答えをさせていただきます。確かにごもっともなご発言でございます、ご指摘の通りですね、市の広報でレンタサイクルのPRはあまりしていないというのが現実でございます。1つはですね、レンタサイクルのこれまでのご利用者がやはり市外の方が大半であるということで、どちらかというところですね、大河ドラマ館のPRと共にですね、ホームページですとかいろんな外向けの媒体では、レンタサイクルをやっています、というようなことでぜひ清須にお越しの際は、レンタサイクルを使って観光していただきたいというPRに軸足を置いていたところでございますが、私もですね、そういうご指摘をいただいて改めて考えますと、やはり市民の方がまずレンタサイクルの事業をしっかりとですね、認知をしていただいて、例えば市民の方が市外にお住まいの知人の方とか友人またお知り合いや親戚の方にですね、清須に遊びに来たら、レンタサイクルもあるからぜひ遊びに来て、レンタサイクルで市内の観光しては、というような口コミというのもですね、非常に大きな効果があるのかなというふうに考えておりました、少しそこはですね、私どもの大変お恥ずかしい話、盲点だったかもしれません。そういった意味合いでですね、来年度の事業については、今のご意見等をふまえてですね、再度事業内容を検討して、また来たるべき3月の議会でご提案して、またご審議をいただくというふうに考えておりますが、市民の方への周知、PRこれもですね、しっかりして、ぜひ口コミで広がっていくような取り組みをしてまいりたいと考えております。ありがとうございます。

その他ご発言、ご意見等はいかがででしょうか。小澤委員様、お願いいたします。

●小澤委員

小澤です。3点ほどあるんですけども、まず資料1のコミュニティバスの運行利用状況概要の中で、去年も今年も、8月から9月の落込みが非常に大きいと。これは、例えば8月はお子さん連れの方が多いたとか、夏休みに関係があるのか、それとも他の台風が多いとかそういった理由があるんでしょうか。

それから2点目が、同じ資料1の右側の利用者数の少ないバス乗り場とか、多いバス乗り場が書いてありますけども、順番は多いのは1番多いところから順番なのか、少ないところは1番少ないところから順番なのか、なんか並べ方があるんでしょうか。

それから3点目、レンタサイクルなんですけども、これ私も実際に見たことがないので分からないんですが、例えば、自転車を借りる時には、身分証明証とかそういったものの提示が必要なのか。それとも例えば100円預けて借りて、返す時に100円貰うというデポジットになっているの

か。それから貸し出して戻ってこないような自転車っていうのがあるのかなのか。それからレンタサイクルかどうかっていうことはどこかシールかなにかで認識できるのかということですね。それから事故が今までなかったかということと、最近新聞なんかでも自転車の歩行者にですね、怪我させたりする事故が多いから保険に入れということをしきりに宣伝しているんですけど、そういった傷害保険みたいなものには加入しているか、その辺の対策はどんなものでしょうか。以上です。

●事務局（飯田課長）

はい、それでは順にお答えをしてみたいと思います。まず1点目の8月から9月の落込みでございますが、これはもう例年の傾向でございます、私どもの利用者の方のアンケートですとか、運行事業者さんからの聴き取りですと、やはり子ども連れの方とか、子どもだけ、子どもだけといってもですね、小中学生でございますが、そういったお子さんがですね、市内のお知り合いのところ、具体的にはおじいちゃん、おばあちゃんのところへ行くので子どもだけで使っているよといったケースもあるということを知っておりますので、7月8月はですね、やはりお子様連れ、お子様の利用が多いということで他の月より増えているというふうに認識しております。

2点目の資料1の利用者数の多いバス乗り場、少ないバス乗り場のこの並べ方でございますが、ご指摘の通りですね、多いバス乗り場は多い順番に並んでおります。少ないバス乗り場は逆に少ない順になっております。ですので、1番上のバス乗り場が1番少ないというかたちでございます。

最後、レンタサイクルの関係でございますが、まず身分証明証の提示は、これは求めております。ただし、初回のみでございます。初回のみ身分証明証を提示していただいて、それで会員証というのを作らせていただいております。2回目以降は、会員証の提示だけで構いません。この目的はですね、今デポジットというお話がございましたが、他の事例ではですね、例えば1000円とか2000円だとか保証金を納めて、返してもらう時にその保証金をお戻しするという方法もございます。ただし、私どもの今のレンタサイクルはですね、どこで借りてどこで返してもいいというふうになっておりますので、お金を預かりますとね、例えばふるさとのやかたで借りられるので1000円保証金をお預かりすると、今度違うところでですね、自転車を返す時にそれをお返しするとなるとですね、やはりなかなかどうしても同じところではないので、少し心配な面があってですね、そういう保証金はなしで、身分証明証で確認をするような方法をとっております。

戻ってこない自転車がありましたか、というお話がございましたか1件ございました。戻ってこずにですね、探してたら名古屋の駅前にあったと。その方からお詫びのお手紙をいただいて、何らかの事情でちょっとどうしても返せなかったのということがありました。そういう事例は1件ございました。

あとはですね、自転車見てレンタサイクルと分かるかというご質問でございましたが、前のカゴの部分と自転車のワッパの部分にですね、あしががるサイクルっていうラミネートで表示をした板を付けておりますので、これはレンタサイクルだというふうになんか分かるようになっております。

事故についてはですね、おかげさまで、私どもが把握する限りはございません。

最後保険についてはです。保険についてのご質問でございますが、保険はこの事業の中で加入をしております。これは自転車ごとに保険がですね、加入できるようになっておりまして、P Sマーク付帯保険というそうでございますが、自転車の安全整備店で点検整備を受けるということをしてますと、その保険に加入ができると。損害賠償保険でございますが、最高2000万までの保険と、まあ事故もなかったものですから、この保険の適用の事例も今のところはないというところでございます。以上でございます。

#### ●佐野委員

J R 枇杷島の駅を例にとりますと7、8枚ラミネートで案内はありました。ただ関心がなければ、全く目にもつかない。私も何回かJ Rを利用はしましたけど、気が付きませんでした。それでたまたま管理者の方からこういうのが張ってあるんですよということを伺って、そういうふうな目で見たら、あっ、ここにもここにもあるわということで気が付いたんですね。例えば、改札を出たところにダンボールでもベニヤでもいいんですが、自転車がなんか作ってあって「あっ、これなんだ」と見た横にあると、こういうことかということが分かる。それから西と東に降りて地図がありますね、清須市の。その横にレンタサイクルがありますよというふうに案内がしてあると、非常に分かりやすいのではないかとというふうに感じました。

#### ●事務局（飯田課長）

はい、ありがとうございます。前回の会議でも、J R 枇杷島駅を降りたところにちょっとレンタサイクルの案内がちょっと弱いんでとご指摘を受けてですね、少し改善をさせていただいたんですが、まだまだちょっとその工夫が足りないというふうに改めて認識をしたところでございました。視覚的に分かりやすいちょっと工夫をさらにしてまいりたいと思っております。よろしく申し上げます。

他によろしいでしょうか。はい、お願いいたします。では、加藤委員お願いいたします。

#### ●加藤委員

はい、加藤です。利用状況の悪いというところで宮前とかさわやかプラザとかいうのが出ておりますが、この停留所は乗るところと降りるところが全く違うんですね。そのために宮前の場合は西行きのところは信号から近いために車が止まるので分からない方、そこに停留所があるという方は大丈夫なんですけど、全然知らなくて乗ろうと思ったらどこに停留所があるのか分からない。ぐるぐる回っても分からない。ただ、降りるところだけは分かりやすいところにあるので分かるっていうですね。あそこはちょっと色々な関係でしょうけど、あそこに停留所が置いてあるというのは、高齢者の方にはちょっとかわいそうな気がいたしました。

もう1つさわやかプラザですが、若い方は一応、色々なことを研究してますし、見てますので大丈夫だと思うんですが、高齢者の場合は、さわやかプラザという降りるために使っているバス停ところで反対側に乗れると思ってらっしゃるみたいで、学校の裏にあるとは思ってないみたいなんです。私たちも、ちょっとどっかに行こうと思って団体で待っていた

時バスの方が分からなくて、時間が遅れたということがありましたが、あんなに一方通行とか交通面で色々あってのことだとは認識していますが、そこにしなきゃいけないということじゃなくて、もうちょっと離れたところに、遠くてもいいから見える場所に、降りるところと、乗るところができるようなところにしていただけるともっと利用が増えるんじゃないかなと私は感じました。

それともう1つですが、時間ですね。このままずっと運行されていくんでしょうか。オレンジとグリーンと一緒に時間の差もなく走ると、このペースはずっと続くのでしょうか。できれば、2時間ぐらいで後のバスが来ていただくと、我々買い物をするものにとっては助かるのですが、3時間以上とといいますと高齢者の人に言わせると、医者に行っても2時間までは待てるけど、3時間以上待つバスに乗るってことはできないので、ついタクシーを使うんだわねと言われるんですが、その点はどうなるんでしょうか。いっぺんお聞きしたいと思います。よろしく願いいたします。

●事務局（飯田課長）

はい、2点ご質問、ご意見を頂戴しました。宮前町とさわやかプラザのバス乗り場の関係で乗るバス停と降りるバス停が違っていると、それも今、加藤委員のご発言のようにですね、一方通行の関係で、同じバス停にできないってことはないんですが、同じバス停にするとですね、一方通行のところを2回くらい回らないといけないので、運行時間が長くなってしまうとそういった関係もあって、わざと離しているんですけど、後ほどのアンケートの調査結果からも今回出ておるんですが、少しバス乗り場が遠くなくても構わないのでバスの増便とかにつながった方が良いというご意見もかなり多いので、今のご指摘もふまえてですね、少し離れた場所になるかも分からないんですが、乗る場所と降りる場所が一緒の方が分かりやすいというようなところもふまえて、今後のルート・ダイヤ改正に活かしていきたいなというふうに思っております。

2点目のオレンジルートとグリーンルートのバスのたぶん運行間隔のお話のことだと思うんですが、今回ですね、オレンジルートが減少した最大の理由はですね、私どもが考えておるのは、今までオレンジルートとグリーンルートはですね、朝出発するところが違っていたんですね。例えば、西枇杷島庁舎から出発するバスと清洲庁舎から出発するバスと両方ですね、西と東からそれぞれバスが走ってですね、クロスするというダイヤにしてあったんですが、今回のルート改正、ダイヤ改正でですね、同じ例えば東側から西に向かってスタートするというようなかたちにしました。それは初めての実験でございますが、そうしますと今までオレンジに乗っていた帰りはグリーンに乗って帰るよという利用がしづらくなったと、それによって買い物先やお医者さんで3時間ぐらい待たなければいけないとそういった利用の仕方ができなくなったのでという声をいただいておりますので、その辺は今回の利用状況でも顕著に表われておりますので、そういったところを次の改正に繋げていきたいなというふうに思っております。以上でございます。

他に、もし加藤先生の方から総括的なご指摘をいただければなど。

●加藤副会長

名古屋大学の加藤ですが。今日の議論はやっぱり、どうしてオレンジルートが非常に減ったのかということが、ほぼ唯一知りたいことなんですが、私も同じことを思っていて、以前の議論ですと、乗り継ぎを何とかできないかという話がありまして、そのために乗り継ぎを考えると、それまではそうじゃなくて南側を走るルートと北側を走るルートがあるんですが、大きな流れはヨシヅヤの方に行く流れなので、それを交互に、要するに方向がいつも反対側になるように走らせた方が全体としては本数的が多くなるということをやっていたんですが、乗り継ぎをすると同じヨシヅヤの方に行くのであれば違うルートから乗り継いでいった方が、逆からくると乗り継いでもまた戻ってしまうので、そうではなくて同じ方向に走らせなければいけないと、ここが最大の間違いだったなど。私もそれはちょっと良くないんじゃないのということをやちゃんとおっしゃなければいけなかったんですが、そこをやちゃんと間違えたということだと思います。乗り継ぎをもっと機能させるんだったら、今の本数では全く足りなくて、最低でも今の倍はないといかんですね。つまり同じ時刻にオレンジもグリーンもヨシヅヤの方からとかあるいは西枇杷の方から交互にこう走る、こうじゃないと、それで例えば市役所にみんな4台集まってくる。そういうのだったらいいんですが、それができないんでちょっとまずいことやっちゃったということだと思います。

ただ、それだけで説明できないこともありそうで、なのでちょっと具体的に知りたいのは、オレンジルートの減少した停留所はどこですかということを知りたいですし、逆にサクラルートの増加した停留所はどこですかということ。多いじゃなくて増加したとか減少したとか変化が大きいところはどこかと。それが、どの時間に例えば乗車とか降車が多かったのがなくなったので減っちゃったとかそういう分析をしないといけないのかなと思います。それから、たぶん本数がそういう意味で実質的に減ってしまったので、片方がタクシーになったということもあるだろうと考えられるので、行きと帰りでどれくらいの差があるのか、というのを知りたいですね。そういうデータがないと資料5にもいけないんですが、資料5というのは改定に向けた考え方なんですが、残念ながら今日の参考資料を見てもそういうデータが全くない状態なので、5が議論できるのかなということに不安を覚えています。

いずれにしても、そんなに難しいことではないんで、今言ったことをよく吟味してどうしたらいいか考えないといけないのかなというふうに思っているところです。はい、とりあえず以上です。

●事務局（飯田課長）

はい、ありがとうございます。今の加藤先生のご指摘のオレンジルートの減少要因とサクラルートの増加要因はですね、内部的に整理をしているところがございます。なぜ、今日お出しできなかったのかと申しますと、この後の資料3でご説明させていただく、利用者アンケート、その自由意見とですね、そのデータとですね、少し整合性チェックをしているところがございます。次回会議までにはですね、その減少要因を明らかにしてまいりたいというふうに考えておりますのでよろしくお願いたします。

その他、委員の方からご発言とかご意見等、よろしゅうございますでしょうか。はい、それでは運輸支局の西尾委員。

●西尾委員

愛知運輸支局の西尾と申します。利用状況の資料などグラフを入れていただいて少し分かりやすくなって状況が把握できやすくなったという感想を持つんですが、利用実態を見てみますとなかなか利用をしていただけないという状況があるというような感想を持ってしまいます。そこで、資料の作り方として、ちょっと工夫をしていただければというお願いなんですけど、利用者総数みたいなものはグラフになっているんですが、1便あたり何人ぐらい乗ってみえるのかとかですね、そういった資料があると、また各委員さんの議論が深まっていくんじゃないかなと感想を持ったものですから、また次回以降ご検討いただければというふうに思います。よろしくお願ひいたします。

●事務局（飯田課長）

はい、その辺りのデータは整理をしておりますので改めてご提出をさせていただきたいと思ひます。他によろしいでしょうか。それでは、議事1と2はこれで一旦終わらせていただいて、続いて議事3のですね、アンケートの調査結果についてご報告をさせていただきたいと思ひます。

資料3「コミュニティバスの利用者・非利用者アンケート調査概要」について事務局からの説明。

本件についてのご説明は以上でございますが、この内容についてご質問とかご意見等はいかがでございましょうか。加藤先生お願ひいたします。

●加藤副会長

先程と同じなんですけど、資料3②のオレンジルートにおいて不便になったという意見が顕著という、このどう不便になったのかということが知りたいことですね。それから⑤のところでも乗り換えに対してややとまどいを感じられるということなんですけど、通常多くの方がそうなんです、例えば今週東浦町で会議に出ましたが、東浦町は中心部にJR小川駅というのがあります、そこで乗り継ぐことを前提にしたダイヤを組んでいます。しかし、非常に苦勞がありまして、東浦町は非常に利用が多いバスなんですけど、X型になっているんです、東浦町は。だから西の方と南の方からきて小川駅で交差してどちらかが北に行ってどちらかが東、刈谷に行くというルートで、ほとんどの便が2台同時に小川駅へ来るので、西・南から北・東へとどっちへも行けるようになっているんです、そういうふうにごれだけ告知してもなかなか乗り換えしてくれないってことで結構苦勞しています。ましてや、清須のような狭いところで乗り継ぎをしたら、乗り継ぎをしている間に行けちゃうよねということになっちゃうので、結構難しいなということはこの⑤からも言えるかなと思ひました。

質問はオレンジルートのことなんですけど、私、今この③の結果と資料1の利用者数の少ないバス乗り場というのが右の方にあったんですけど、それとずっとこう三角で見比べて考えてたんですけど、明らかに利用が少ない地域がありますね。資料1は、1番右のところは1週間に1回程度以下の利用ってことなんで1週間毎日走っていても1回乗るか乗らないかっていう停留所ってことです。私の中ではもし空白地域を解消するということがあればデマンドかなとか、そうでなくって利用を効率化するってこ

とであればいけないなという、そういう選択がかなり考えられるのかなと思います。ただし、空白地域を解消するということが後の評価のようなところ、あるいは目的ようなところでも出ているので、だとするとこれはタクシーにちょっとお願いしてそういったところはデマンドでカバーする。デマンドというのは予約したら来てくれるっていうやつです。例えば、みよし市でやっているような仕組み、あるいは武豊町でやっているような仕組みがありますけど、コミュニティバスに接続して予約すると来てくれるというやつです。祖父江でも、祖父江は恥ずかしいぐらい量が少ない、一ヶ月に1人も乗らないぐらい少ないんですけど、そういった仕組みにしていく必要があるのかなと。具体的に言ってしまうえば、下小田井、ここが非常に少ない。逆に新川は非常に多い。それから西市場とかあの辺り廻間とかあの辺りはヨシヅヤは非常に多いんですが、あとは全くガラガラという。春日は思ったよりは多いと。少ないといえる日もありますが、全体的としてはすでにサクラルートがかなり多くなっていることから分かるように結構あるといったことで、おのずから、どこを重視してどこは効率化していくかっていうことが分かってきているなということですね。そのこととたぶんオレンジルートにおいて不便になったという意見との多くの方は、良く乗られているところの人が意見を言ってるはずなので、良く乗られているところの方をもうちょっと利便性高めることをやって全体として増やすことをやってあげないといけないなということ資料1と3を見て思ったということでありまして。以上です。

●事務局（飯田課長）

はい、ありがとうございます。今加藤先生がお話あったように、下小田井周辺も鉄道駅がございまして、ヤマナカさんという買い物施設の至近距離にあると。西市場の方はですね、名鉄新清洲駅にも近いですし、ヨシヅヤさんという買い物先も多い。やはりどちらかということ市の南側、旧の美濃街道に沿ったこういうところがですね、非常にご利用の高い地域で、増便を検討していくとなると、1つは予算を増やして、バスを増やすということも1つの選択肢であるとは思いますが、現在の運行経費と同程度で増便をしていこうと思うとですね、やはりバス停の取捨選択、これをやはりしていかなければいけないのかなというふうに思っています。

1つちょっと参考として今日、ご説明させていただきたいのが、須ヶ口駅の前にあるスーパーが1月29日で閉店になりました。近隣の地域の方から、買い物先がないっていうお声は実は届いております。前の方に地図でもお示しをしてるんですが、赤の点線で囲った地域、新川の西部、なおかつ名鉄の本線と津島線で囲まれたエリアは、そのスーパーがちょうど北の端にあったんですが、ここのエリアに他のスーパーが全くありません。あと個人商店も、野菜とかお魚とかそういったものを買えるところが全くないエリアになってしまいました。エリア人口が約4400人、高齢者の方が約1100人、高齢化率が25%。市の平均が約20%ですので、やはり高齢化がかなり高い地域であると。一方、右側の新川の東部のエリア、これも新川と名鉄の本線で囲まれたエリアなんですが、ここにもスーパーがない。ここが約エリア人口が6900人、高齢者が1700人、高齢化率が西部と同じように25%。市の平均と比べるとかなり高齢化が進んだ地域で、両方合わせますとエリア人口1万1千人、高齢者の方が2900

人にも及びます。コミュニティバスのルート、グリーンルートを示してありますが、やはりそれだけでは、少し弱いというふうにも少し感じておりました、こういったエリアの、いわゆる買い物弱者の方が発生しているので、どうコミュニティバスをうまく使っていくかというのが大きな鍵かなというふうにも考えております。少し現状の大きな課題のご説明をさせていただきました。

その他、このアンケートについてご意見とかご質問はいかがでございましょうか。オレンジルートですね、要因分析については改めてご報告させていただきたいと思っておりますので、それでは次の議事へ移らせて頂きます。

今度は協議事項に移らせていただくわけですが、協議事項のまず、1点目のですね、「事業計画に対する実施状況の確認・評価について」という議事に移らせていただきます。

あらかじめお配りさせていただきました右方に資料4とあるA4版ホチキス止めの資料をご覧くださいませでしょうか。これは毎年この時期に評価書の内容についてご議論をさせていただいているわけですが、現在、国土交通省の補助事業を活用させていただいております、21、22、23年度とこの3年間補助事業の認定を受けております。毎年度どのような成果が上がったか、そして今後どういった取り組みをするかという評価書を、国土交通省の方へご提出させていただくことになっておまして、その内容についてこの会議の場でもご議論をいただく内容でございませ。あらかじめ資料をお配りしておりますので、少し要点を絞ってご説明させていただきたいと思っております。

議事「事業計画に対する実施状況の確認・評価について」に関する資料4について事務局からの説明。

では、この件に関してご意見やご質問等はいかがでございましょうか。はい、佐野委員。

●佐野委員

今の課長の説明とこの公共交通会議がやってきた様々な事業については全く何の異議も唱えるものではありません。ただ、私は、この文章いただいた時に、ちょっとびっくりいたしました。なぜかと言いますと、ずっと読んでくと、第23年度第2回清須市公共交通会議の会議議事録抜粋と。会議は今日行われている、この会議の内容が全部もうこういうふうになり込められて、文章がもう出来上がっています。結果的にはこういうかたちになると思っておりますし、それに異議を唱えるつもりもないんですが、この会議は一体なんだったのかと。会議を開く前に、もうこういうふうになって、今の課長の説明にも実はこういうことをこういう内容にさせていただいておりますという説明もありませんでした。前回の第1回の会議の時に、スケジュール案が出されました。その時に第2回会議が11月に行われてその時には新計画の中間まとめがあり、パブリックコメントも行う。そして第3回に運行事業者の選定とか、こういう確認評価をするとかするというのが出されておりました。これは案ですのでできなかったことは別に構いませんが、なんかこの書類を見た時に、私は委員として大変むなし

ものを感じたということだけお伝えをしておきたいと思います。内容はおそらく結果的にはこうなるとは思いますし、このことに対しては評価はいたしますが、その点だけ。

●事務局（飯田課長）

はい、失礼いたしました。この内容については、こういった添付をさせていただくという整理をさせていただいておまして、基本的にはこの3年間の評価をということですね、これまでの会議でのご意見でふまえた内容でございます。今日改めてですね、先程ご意見をいただいた内容については、再度、加筆修正をしてですね、委員の皆様を確認をいただいた上で、国土交通省の方へ提出させていただこうという内容でございます。基本的には過去の内容に沿って評価をさせていただいているということで、ご理解をぜひいただきたいと考えております。はい、加藤委員。

●加藤副会長

今のご発言は本当にもっともなこととして、ちょっとからくりを言うと、この資料4は1月末までに出さなきゃいけないものなんです。ただ、昨年度までは1月末までに必ず出さなきゃいけなかったんですが、今年度はですね、ちょっと仕組みが変わって、なるべく、なるべくというか本当は出さなきゃいけない、がちがちに1月末じゃないんですが、なので同じような会議がほとんど1月に終わっています。たぶん清須市も1月中にやろうしていたと思うんですけど、私のスケジュールとかもあって、私は1月にその市の会議17個出まして、清須市の調整が遅かったので、2月にはみ出ちゃったということです。なので、実はこれすぐに出さなきゃいけない状況で、ですので今日こうなるだろうということを見越して書かれたと。そのことを言った方が良かったですね。

それから、これは案となっています。書き直せばいいのでどんどん書き直してください。それからもう1点、本来は11月にやっていなければいけないという、ここは非常に重要なポイントで、つまり遅れているということです。遅れていることが悪いことでなくて、なぜ遅れたのかとそれをどのようにカバーするのかということは、ちゃんとここに書かれなければいけないことですので、そういうことをここに書き加えるということで良いと思っています。私もちゃんと確認していなかったのですが、前回の会議は8月でしたが、そのタイミングで図書館がいつできるかっていうのは決まっていたんですけど。それから逆算して11月に必要だということだったというふうに考えたらいいのかな。だとすると、そこからすでに遅れているかたちなので、これはまたやるんですか。近日中に。

●事務局（飯田課長）

はい、近日中に第3回をですね、開催させていただきます。

●加藤副会長

今年度中ということになるんですか。

●事務局（飯田課長）

はい。今年度中、早い段階でということです。

●加藤副会長

ということですので、遅れはそこで取り戻すということで、今日この後でその議論もするということなんですけど、少なくともそういうことは評価にきちんと書いといていただいた方がいいと思います。正直に書いた方が

いいですね。はい、正直ベースが大事です。てことなんで資料4はそういうご理解で、けしてこの会議をないがしろにするということは全くなくて、この書類を早く出さなくてはいけないけれども、今日このように、たたき台を作っておかないと議論もできないでしょうからということですので、不信感をお持ちになったのは当然だと思いますが、そういうことですのでよろしくお願いいたします。

●事務局（飯田課長）

はい、ありがとうございます。少し今の年間スケジュールとの差異についてご説明をさせていただきたいと思います。やはりこの年間スケジュールを、少し後ろに遅らせていただいていることをまずは冒頭にご説明しないといけなかったのですが、これはですね、最大の要因は、利用者数の状況把握でございます。特にオレンジルートが、3月のルート・ダイヤ改正以降減少している。また、一方でサクラルートは増加している。これが果たして通年を通じて、こういった傾向になるかということ。資料1の方に戻っていただきたいと思います。オレンジルートの秋以降は、前年の平成22年の利用者数と平成23年の利用者数の差が少し縮まってきていると。9月以降、この差が縮まってきているということもですね、こういった見極めが通年でできないかなということで、そういった意味合いで、少しアンケートの実施時期も遅らせていただきました。それに伴って、アンケートの結果もふまえてぜひご意見をお伺いしたいということで、この時期に第2回目を開催させていただいたということでございます。それで、第3回目は、先程発言させていただいたように今年度内、早い段階で改めて開催をさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。その他この議事についてご意見、ご質問等はよろしいでしょうか。はい、それでは宮崎委員お願いいたします。

●宮崎委員

春日に図書館ができるみたいですが、その時にダイヤ改正されますか。そこのところをちょっとお聞きしたいんですけど。今の時間、前回も言いましたけど、ちょっとヨシヅヤから帰ってくるのにあれではちょっと忙し過ぎて他の人はどうだか知らないですけど、時間がちょっと短すぎますので、もうちょっとそれだけお願いしたいと思ひまして、それだけ言いたかった。すいません、よろしくお願いいたします。

●事務局（飯田課長）

次のルート・ダイヤ改正はですね、第1回の会議でご説明させていただいたように、新しい図書館のオープンに合わせて、今年の7月に改正をさせていただきたいという考えに変わりはありません。そしてその時は、この後の議事が出てきますが、皆様のご意見をふまえたかたちで、少し大幅に改正をさせていただきたいなと思っております。ここはですね、十分に検討してご意見をふまえながら対応していきたいなと思っております。以上でございます。はい、佐野委員。

●佐野委員

たびたびで恐縮でございます。大変お忙しいとは思いますが、書類の中にも当日配布という但し書きはありましたが、この協議事項が当日配布されるというこれは、たいした意見も出せませんが、せめて協議事項等については、半日もしくは1日くらい前には届けていただけると、目を

通してこの会議に参加できるかなというふうに思います。要望だけよろしくお願いいたします。

●事務局（飯田課長）

はい、今のご発言は協議事項の4は事前配布だったけど、5のところは当日配布でという意味で受け止めさせていただきました。またその理由等については後ほどご説明させていただきますが、そういったご意見ふまえて今後対応してまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。その他よろしいでしょうか。はい、伊藤委員お願いいたします。

●伊藤委員

伊藤です。図書館もですけど、今度ペガサス春日の横に特別養護老人ホームができますね。今度3月の3日と4日に内覧会があるんですけども、ペガサス春日とその特別養護老人ホームとの停留所の関係ですね、隣接ですからどっちかに止めればいんだらうけども、その辺のところ今度のルート改正の中に含まれているのかどうかちょっと伺いたいと思ひまして。

●事務局（飯田課長）

はい、まだですね、今度のルート改正の内容のたたき台も少しできておりませんが、特別養護老人ホームの方にバス停を設置する場合にはですね、新しい特別養護老人ホームとの位置関係も考慮して設置場所を検討していきたいと思っております。はい、その他よろしいでしょうか。では、続いて、大変恐縮でございますが、最後に議事(5)の「清須市地域公共交通戦略の改定について」という議事に移らせていただきます。お手元に当日配布をさせていただきました、右方に資料5とある「地域公共交通戦略改定に向けた考え方素案」というものをご覧いただきたいと思ひます。

議事(5)「清須市地域公共交通戦略の改定について」に関する資料5「地域公共交通戦略改定に向けた考え方素案」について事務局が説明。

事務局としては、今日はあくまでも資料の説明に止めさせていただきたいと考えています。これをぜひ持ち帰っていただいて、先程のアンケートの内容もふまえて、第3回の会議において十分にご議論いただきたいと思ひます。この資料が1人歩きしないように、という意味合いもふまえてですね、大変恐縮ですが、今日当日配布させていただいたということで、ぜひその辺りの事情をご理解いただきたいなと思っております。必ずこのとおり行くというものではなくて、ひとつ申し上げますと今の年間予算の範囲以内で利用便数を増やす、増便をするには、やはりバス停を取捨選択して厳選をしていくということと、やはり乗換えをうまく組み合わせて、図書館へのアクセスを図るということで、本数を増やしていく。ですので、今のバス停までの距離が少し長くなるということは、どうしても出てくるのかなと思っております。それは先程のアンケートでも、約半数の方は10分ぐらいまでなら長くなってもやむを得ないんじゃないかと、そういった結果も若干そこにも表われているということで、ぜひこれは次回の会議の時までに十分、委員の方々にはお考えいただきたいと思っております。一旦この案件については、説明を終わらせていただきまして、ぜひ次回までにこういった点を検討してはといったようなご意見等ございましたらぜひお聞かせいただきたいと思ひます。以上でございます。はい、加藤先生

お願いします。

●加藤副会長

ちょっと頭をいろいろ整理していたんですけど、まず協議事項の（1）の資料4ですが、これはきちんと議決しないといけないものなので、今ずっと飯田課長が議事をやられてますけど、協議事項の協議については、協議の決だけはどうなっていましたっけ。会長がみえない時は副会長とかそういうのではなかった。指名してもらわなきゃいけないのかな。

●事務局（飯田課長）

今までは会長がみえるまでと思って進めていたんですけど、最終的に会長がみえなければ、大変恐縮ですが副会長の加藤先生にお願いしたいと思います。

●加藤副会長

報告はまあ良いと思うんですが、やっぱり協議を整えるっていうのは委員でやった方が絶対良いと思いますので、今ちょっとそこも飛ばしてしまっているんで、あとで今ちょっとお話しちゃうと資料4については先程ご意見いただいた、あ、今やっちゃいますかね、それ。やっちゃいますか。

●事務局（飯田課長）

あえてそこは飛ばして、説明だけに留めさせていただいているので、もうちょっと会長がですね、もう今お見えになってないっていう状況なので、加藤先生の方で取り回しをお願いできればと思います。

●加藤副会長

そうですね。そういうご配慮があったわけですね。資料4については、いろいろなご意見をいただいたんですが、もう1回協議する余裕も無いので、会長と副会長に一任していただくかたちで、実は細かい修正はもう既に書いてありますので、特に協議が遅れているということについてきちんと加筆するということをやった上で、一任していただくということで、ここで皆さんにご了解いただきたいなというふうに、それを私が今ちょっと会長がいなくて委任もされてないんですが、一応副会長は会長の次に偉いと思うので、勝手に委任されたと思ひまして。要綱で会長が不在の時は副会長がって書いてあれば1番いいんですが。

●事務局（飯田課長）

要綱上そうなっておりますので、副会長さんが進めていただくということに正当性がございます。

●加藤副会長

ですので、そこについて今ちょっと皆さんのご賛成、ご反対を確認したいと思います。今私が申し上げたようなことで、資料についてはよろしいでしょうか。よろしいですか。じゃあ、そういうふうにさせていただいて、会長、副会長の方で事務局が修正した案をもう1回確認して、速やかに運輸局の方に提出させていただきます。もちろん、また運輸局の方でのチェックもございますので、そのことをふまえてまた若干の修正があるかもしれませんし、その後のスケジュールとしては評価、毎年ありますが第三者評価、運輸局の評価を経て、第三者評価は5月にあるというふうに聞いておりますので、そこでまた確認をさせていただいて、それがまたここにフィードバックされることになります。

それから、（2）の方のことが資料5で先程もコメントがあって、こうい

うのが当日配布するのではちょっと困るよということなんですが、一方で素案とも書いてあるんですが、素案というより、かなりたたき台に近い素案になっていまして、飯田課長からもコメントがあったんですが、これが外に出た時に、清須市としての決定というふうに思われると非常に困る問題ある資料だということ、今確認しておく必要があるということですね。その上で、ここでは今ぱっと見て皆さんに思ったことを言っただくということで良いと思います。これは後でいただければいいと思います。ですから、この資料5については協議事項なんですが、これで行くとかいうことは、今日は議決とかはしないということで、これも特にそのことについて異論があれば今言っただきたいんですがどうでしょうか。特によろしいですかね。3月ぐらいまでにまた会議があるわけですので、そこまでよく考えていただいてということで、それで特に異論ございませんか。よろしいですか。はい、じゃあそういうことで、資料5についてはあくまでもたたき台で、今日お気づきの点を出していただいて、また持ち帰って検討して、次回たぶん素案じゃなくて、もうちょっと素案から案の間ぐらいになってくると思いますので、そこでもうちょっと議論、また改めて議論していくということでいきたいと思います。

ちょっと前置きが長かったんですが、その上で資料5に対する私の意見を述べておきますと、先程申しましたが、清須市のような狭いところで基幹路線と支線というのをやりますと、移動している、乗り継ぎの余裕時間をとっている間に移動した方が早いということが起こりかねないのではかなということ、危惧するということ。それから、車両はポンチョを入れてるんですが、かなり狭いところでも走れるんですが、清須の非常に厳しい道路事情に照らしてみると、通れるところが限定されるかもしれないという危惧はあります。非常に乗り降りしやすい車両です。ただ、乗り心地は必ずしも良くなくて、小さい車で床が低いので、清須のように道路が結構バウンドするようなどころだと酔いやすいかもしれません。個人的にはあんまり好きじゃありません。見た目は良いんですが、乗り心地はあまり良くない。運転手さんも結構手を焼いているような車じゃないかなと思います。だから、これ乗らない人にとってはこんなの入って清須も良いねという感じなんですが、乗ってみると意外とどうかなというところもあります。ただ車としては大きいので、利用が大きければこういう車両も十分考えられます。

あと、私の中での方向性というところのポイントとして、やはり考えていただきたいのは、幹線基幹支線はありきではなくて、先程むしろ申し上げたように、この中で非常に少ないところについて別の方法を考えると。切るという言い方はちょっと避けたいんですが、別の運行手段があるんじゃないかと。特に、やっぱり週に1回も利用がないようなところを毎日4回とか3回4回とか回る必要があるのか。そこにスポットを当てる必要がある。今までですと、やはり市の一体感、それから空白区域をなるべく無くすと。そこからやっていたのでどうしてもなるべく均等にということをやっていたんですが、もうここまできてですね、どこが利用が多くて、どこがそんなに必要としないかということが分かってきたので、たぶんあまり必要としないところについては、歩いて出ているとかですね、そういうところもあるでしょうし、もっと動きづらい方、体のご不自由な方と

かですね、そういった方はバスは使えなくってもっと、タクシーであるとか介護的なことが必要な手段がむしろ欲されているというようなことが考えられるので、タクシーであるとか、自家用有償運送であるとかも合わせてそういった非常に利用の少ないところはバスは無いんだけど、それを使ってくださいねということを引きちんと併用する必要もあるというふうに考えています。それをやるだけでも、結構これが絞れてくるんじゃないのかなという気がします。なんだかんだ言っても少ないところはクルクル回ってるところですね。なんでここをちょっと別の手段に置き換えることができれば、結構早く走れるようになるんじゃないのかなという気がしています。

あとは、むしろその分を非常に需要が潜在的に多いと思われるような新川の南部ですね。このあたりに振り向ける。あるいは春日の方も潜在利用がありそう、図書館ができてより増えるということなんで、そういうふうに振り向ける。私の中で今、念頭においているのは幹線基幹支線まではいかないんですけど、むしろ地区を重点化するというをやった方が良いのかなということを考えております。ですので、それに合わせてちょっと検討していただきたいのは、先程申しました、みよし市や武豊町のようなフィーダータクシーの活用、これがどのくらい可能かということを引きちんと勉強していただけると良いなということですね。ぜひそれを考えていただいて、みよし市の事業者は愛知つばめ交通ですから、清須市の事業者のグループですね。そちらの方で実績もあって、決して良い商売ではないとは伺っていますが、ほどほどになるようなところで考えていただければというふうに思っています。みよし市の場合は、2路線バス路線がありますが、それでカバーできないところについては、フィーダータクシーで。非常にその中で利用が多くなったところ、例えば、最初から予想されてたんですが豊田厚生病院。あれはみよし市じゃなくて豊田市内にあるんですが、そこまでフィーダータクシーを設けたら、そこは非常に利用が多くなっちゃって結局経由せざる終えなくなっちゃったと。経由せざる終えなくなっただけという言い方なのか、フィーダータクシーで試しておいて利用が多いんだったらそっちにいった方が良いのでそっちにいったという見方もできますよね。ですので、そういったかたちで、みよし市は試しをまさにデマンドのフィーダーでやって、利用者が多ければ路線をそれに従って変えるということで、市民の皆さんにも納得していただけるようなやり方をとっているということです。そういったことを清須でも考える必要があるんじゃないかなということ、私も本当今日これを見て思い付きなんですけど、思いました。ただ予算が伴いますので、これをするのとポンチョ買うのとどっちがいいのかなっていう、その天秤をちょっとかけて考えていただければ、我々が考えなければいけませんので、そういった材料を次回出させていただきますか。つばめさんも、是非みよし市の実績とかを聞いていただいて、事業者さんが出していただいた方がより正確だと思うんで、ぜひ次回紹介をしていただければ良いなというふうに思っています。

私の感想は以上です。あとは皆さんにこういったご意見を今見ていただいて思った意見を出していただいて、それを最後事務局の方で、今日いただいた資料1とか資料3とかのコメントを含めて、次回どういう資料を出すかということを引きちんとまとめていただくと。そういう流れでこの後いくという

ことで良いと思います。何か意見ございましたらはい、どうぞ。

●伊藤委員

伊藤ですけども、ルート改定に向けて、ずっと以前から申し上げているんですが、オレンジルートとグリーンルートは、東行きや西行きのように、互い違いになるような時間になってるんですけど、サクラルートだけは一方通行、全て一方通行なんですね。だから例えば春日から清洲に来て、また清洲から同じ春日に戻ろうと思うと、ものすごく時間がかかるんです。待ち時間もあるだろうし。

それで私も確定申告しに清須市役所に行きたいんですけど、終わる時間が分からないし、また一回枇杷島に戻って、枇杷島からまた上に上がっていくような、行って回ってきて戻ってくるということで、おそらく3時間から4時間かかるんじゃないかなと思うんですよ。待ち時間なんか入れたら。ましてや今度は図書館ができるんで、今の便数もちろんですけども、一方通行だけに回る箇所が、図書館に行って帰ってくるまでの時間がもの凄くかかるんじゃないかと思いますので、便数が増えればもちろん問題は無いんですけど、東だとか逆方向に回ってもらおうと、例えば買い物なんかでも便利だと思うんです。今私どもの地区から清洲のヨシヅヤに行くにしても、片道は歩き、片道はバスって言う格好で利用される人がいるんですね。時間の関係から。そういうことで逆に回るバスがあれば往復利用できるんじゃないかとそんな気がしますんで、今度改正される時に、サクラルートも他の2路線と同じように逆方向に回れるような路線も便数も含めてお考えいただければいいんじゃないかなと思いますけど。

●加藤副会長

はい、ありがとうございます。はい、どうぞ。

●佐野委員

少し確認だけさせてください。今まではオレンジもグリーンも、なんていうのか、こう斜めにというか市内を、いたのを全く今までと考え方を変えるんですね。この地区、2つの地区とその間に基幹バスを走らせるという、全く考え方が変わるということではよろしいんですか。

●事務局（飯田課長）

事務局からご説明させていただきます。ご説明させていただいたように、1つのたたき台としてご提示させていただいたものでございますが、それに対してぜひご意見をいただきたいと。この考え方ですと、例えば西枇杷島地区の方がヨシヅヤに行こうと思うと、乗り換えをしないといけないということです。ですので、今までの考え方とは大きく違います。今まではどのバスでも基本的に東から西まで行けるので、西枇杷島地区の方が清洲地区ヨシヅヤへも行けるし逆の方向もある。ということです。今度は市内を大きく2地区に分けて、そこで巡回をして、なるべくそこは小回りで時間をかけない。ただし今度は乗り換えが発生しますよ、ということではございます。西枇杷島地区の方は逆にヨシヅヤへ買い物に行かなくても西枇杷島地区とか新川地区のスーパーには早く行ける。そういったところがどうかと、ぜひご意見をお聞かせいただきたいと思います。

あと先程、伊藤委員からお話があったサクラルートの巡回を逆方向でもということと、1つお考えいただきたいのは、今までは、うちの地区にバス停ができないかということと、バス停が拡大していった線も長くなっ

てきた経緯がございます。よくお声をいただいていたのは、なんでうちの字、地区にバス停がないかということで、どんどんどんどん、広がっていったという。今サクラルートでも1周が約1時間です。これを逆方向でもまわそうと思うとやはりこれを短くしていく必要がある。そうすると、バス停の数は減ってくると思います。なので、うちの地区にバス停がなくて隣の地区のバス停まで行かなかんと。その辺のご理解がどういただけるのか、その辺との兼ね合いを、ぜひお聞かせいただければなど。それは各委員の皆さん全てですが、その辺のご見解をぜひいただいて考えていきたいなと思っております。

●加藤副会長

先程申し上げたことと全く同じことなんですけど、バスの台数が同じで本数増やそうと思えば、停留所を減らさないといけない。どっちがいいですかということですが、私がさっき申し上げたのは、ある程度利用の少ないところは分かってきているので、バスに相応しい、もともとそうあるべきなんですけど、バスに相応しいところをきちんと走らせるということが大事なんじゃないかなと。

あと、今おふたりのご意見に関連して言うのであれば、現実としてはヨシヅヤが非常に多いということなので無視できないですが、例えば春日の方から考えますと、清洲駅とヨシヅヤに行きたい人が非常に多いんです。じゃあ、ヨシヅヤから清洲駅経由で春日を循環するルートだけで1台割り当てるという考えでいいのかどうかというと、それはちょっと全市的にみると過剰なんで、現状サクラルートは本庁舎であるとか枇杷島駅まで来てるんですが、そうすると本数が少なくなると両回りってことにしたら非常に不便になってしまう。なので、その辺りをどのように考えたらいいかということが結構難しいということがあります。両回りにすると停留所が逆になりますので、例えばある時間は道路の東側だけ次の時間は西側ってことでそのことで非常に不便になることもあります。自分が行きたい時には逆回りにしかなかったとか。大体今の感じだとどう頑張っても1時間30分に1本より増やすことはできないと思うので、下手すると同じように3時間ぐらい待たないといけないということも起こったりします。そういったこともあって非常に難しい。しかもそこに図書館ができてくるんで、図書館をどう考えたらいいかという要素まで出てきちゃったということになるわけです。

ただいずれにしても、今日ちょっと確認しときたいのは、そういったかたちで停留所がある程度省略されても本数を増やして利便性の高いものをつくるという方針が良いのか、それともどっからでもバスには乗れるという今の、どっちかということとそっちが重視されているんですが、その考え方が良いのかどっちかということ。それから乗り継ぎを肯定するのかしないのかということ。その辺りについて追加的にご意見があれば伺っていただきたいんですが、どうでしょうか。もうちょっと言うと、資料3の方でも現状の利用者の70代、80代以上、60代で7割ですかね。7割以上なので、そういう方にとって、乗り継ぎってというのは非常に難しいかなっていう気もしています。それから、あるいは一方で停留所をある程度間引いたとしても、かなり歩かせるというのもちょっと難しいのかなという感じもしています。ただ、ダイヤ的には不満が多いのでやはり今のダイヤではまずい。

だから絞り過ぎず、でも今のままでは駄目という中間的なぐらいが良いんだらうかなというのが私の見解なんですけど、どうでしょうか。何かご意見ございますか。

いつも思ってるんですけど、ヨシヅヤとか図書館とかが全部直線状とかにあれば簡単なんですけど、バラバラなんですよね。今時のコンパクトシティであるとか、そういった新しいまちづくりの考え方は、施設をなるべく直線的に置くとか、なるべくある場所に集約しておくとかってことを心掛けるわけで、清須市も将来的にはそういう方向に向かっていかなければいけないと、私は勝手ながら考えています。そうでないといつまで経ってもこのパズルをずっと続けないといけないので、実はそのことっていうのはそれぞれの地域に配慮しているようであって、実は全ての地域にとって不便だよと。まあバスが典型なんですけど。みんなのところを回ってるから良さそうなもんですが、みんなのところをまわったが故に全体として不便。便利じゃないですよ。現状で利用していただいて、ありがたがってくれる方はみえるわけですが、なかなかそれ以上にいかないっていうのはそういうことですね。今ずっと清須のバスが3年、始まって3年後ぐらいからずっと飽和状態で、ちょっと動かすとむしろ乗客数が減ることになるっていうのは、そういう状況ですね。それを突破しようとするのが割りきりが必要になってくるんじゃないかなというふうに思っています。

どうですか。今ちょっと一生懸命繋いでいるんですけど。はい、どうぞ。

#### ●小澤委員

図書館の考え方なんですけど、ヨシヅヤの利用者は60代、70代の車に乗れない方が、ヨシヅヤに行くのに便利ということであしがるバスがかなり利用されてるんですけど、その年代の方で図書館に行く方がどのくらいいるかなと思うんですけど。私も時々、愛知県の図書館に行くんですけど、昼間はやっぱり自習室で若い人が勉強している。年寄り、年配の方はほとんど見たことないんですね。図書館を作るからどうしても図書館、図書館って目がいつちゃうと、かえって需要が掴めなくなっちゃう。特に、新しくできる施設だから、市役所は当然利用してもらいたいと思ってみえることは分かるんですけど、若い方だとたぶん自転車で行っちゃうし、年配の方は、私でも60近くになると細かい字が見にくいものですから、それほど図書館に行って、座って長いこと本をそこで見るってことはないと思うんですね。かえって図書館の売りは、ここはバスとは関係ないんですけど、近くの支所の方へ届けるとかですね、そんな格好で貸し出しをするといったサービスをしたほうが、わざわざ図書館の方までバスで行って、本を探してですね、たぶん人気のある本っていうのベストセラーになるような本だと思うんですけど、年配の方が読みたいのはですね。そういうのはせいぜい買っても2冊ぐらいだと思ってるんですけど。それを行って無かったらどうのこうので、かえって魅力のない図書館になってしまうとまずいんじゃないかと。図書館でも喫茶室みたいなのがあってですね、色々くつろげれば良いんだけど、本だけしかないようなところで、1回バスで行っちゃって、次のバス来るのに3時間かかるよっていったら困っちゃうんじゃないかというような気がしてるんですけど。バスとは直接関係ないんですけど、図書館の考え方なんですけど、雑談程度に聞いていただけたら結構ですけども。

●事務局（飯田課長）

はい、事務局の方から少しご説明をさせていただきます。まず、今のご発言の中にあつた支所での貸出については、これは前の会議でもご説明させていただきましたように、西枇杷島、新川、清洲の地区で一箇所ずつサービスポイントということで、図書館の本の貸出とか返却できる場所は設けますので、必ずしも図書館にお出かけいただかなくても本は借りられるということでございます。先程、加藤先生からお話あつた、道路事情がやはり貧弱でひとつの大きな道沿いに公共施設があるとよりコンパクトシティになりますね、というお話で、少し現在の道路事情を現時点でご説明できる範囲でお話をします。アルコ清洲から長者橋東、ちょうど今ここを通り抜けができないんですが、アルコ清洲、長者橋の間が今年の夏をめどに開通するというところでございます。これは県道でございますので、これは愛知県の方で整備をしていただいています。もう1つはですね、枇杷島駅の東側、さわやかプラザの少し横になるんですが、さわやかプラザの少し横に、昔の東海銀行、現在の三菱東京UFJ銀行、ここからですね、東海道本線、新幹線をくぐり抜けるアンダーパスっていうのが平成25年度に開通をします。これも県道として整備していただいているというような状況ということをお伺いしておりますので、この両方が開通をしますと、西枇杷島庁舎、清須市役所本庁舎、そしてアルコ清洲、清洲庁舎、ヨシヅヤっていうのが1本の線で結ばれます。地域内幹線道路と私どもは位置づけておりますが、これが東西の軸になります。あと南北の軸は、春日の図書館からアルコ清洲方面への堤防沿いの道ですね。ですので、南北の軸と東西の軸というのが平成25年度には整備されて、そうしますと、より大きなバスが、早い走行時間でまわれるというような環境にはなってくる。今、大変恐縮ですが過渡期にあるというような状況です。

●加藤副会長

はい、ありがとうございます。まもなく12時になりますので、まだちょっとご意見あるかもしれないんですが、ちょっと今日結果としてこの5について取りまとめるってことじゃないもんですから、ちょっと皆さんにお願いしたいんですが、あるいは事務局にもお願いしたいんですが、この資料5、あるいはその他の資料を見た上で、図書館の開館も含め、念頭に置いた再編についてご意見ございましたら、ございましたらといいますか必ず出して欲しいんですが、事務局の方から用紙であるとか、用紙であるのか分かりませんが、そういったものを作ってももちろんメールとかファックスとかでも構わないと思うんですが、提出していただくっていう手続きをとってその上で次回それをまとめて出していただくとそうすると、議論の効率化にもなりますので、そういうことをやっていただきたいと思います。そういうことでよろしいですかね。

あと今、ちょっと図書館の話が出たんですが、一般的には図書館っていうのは何時間でも時間がつぶせる施設っていうことで、しかもタダでいられるということで、実は非常に公共交通と相性がいい施設であるというふうに考えられます。1番相性がいいのは病院なんですけど、病院は行っていただいているところではない。つまりやむを得ず行くところです。よくあるパターンは、おじいさんとかおばあさんがどこかへ出かけたいんだけど、出かける口実として1番いいのが病院だと。これがヨシヅヤへ行きたいっ

て言ったらお嫁さんが送ってくれるかと言ったら送ってもらえない。それが病院へ行くと言ったら送ってもらえるということで、病院の方が自分で動けない方にとっては行きやすいところ。ですから全国の多くの地域で病院がコミュニティスペースになっているということですが、清須市内は幸か不幸かそういった病院がないので、むしろヨシヅヤがそれに近い機能になるのかもしれませんが。図書館っていうのは先程申しましたように時間がつぶせる場所であり、それからお金がかからないところなので、実は非常にこのバスの利用が多くなるということと、図書館が利用されるということの相乗効果が考えられるのではないかとこのように思っております。ただ、図書館が具体的にどういう中身なのかということを知らないので、そういったあまり本を読まなくとも時間がつぶせるスペースがどの程度あるのかとか、本のラインナップですとか、もっと映像とかそういったものがどのくらいあるのかといったことによっても変わるということ。あと付随施設によっても変わりますので、これは図書館をどういうふうにするかということとはまた、別のセクションなのかもしれませんが、かなり真剣に考えていただきたい。

ちょうど中津川市で図書館作るか作らないかでリコールがあって結局市長が変わったっていうこともございましたが、そこまでガリガリやるかどうかということは別として、非常に重要なポイントだし、そのこととバスをどう走らせるのかということとは非常に関連がありますので、今、私が申し上げたこともぜひ参考にさせていただいて、考えて、ここで図書館どうすべきかということとは言ってもあまり意味がないかもしれませんが、事務局の方からしかるべきところにお伝えいただきたいということでございます。図書館がどういう図書館になるかっていう情報提供も次回していただけるといいですね。図面であるとか、パースであるとか、そういったものを見せていただいて、たくさん人が来てもらえるような施設ですよっていうことであればそれに対応する。そうじゃなくって、本当にただ本が並んでるだけで、勉強するだけのところってことだったら、これはなかなか人が来ないんでもうちょっと考えた方が良くということになると思います。ぜひ次回そういう資料も出してください。次回に向けては私も改めてどういう資料が必要かということを経理局とチェックするようにいたします。

一応以上ですけど、その資料5、協議事項(2)については終わっておきたいんですが、このことも含めて何かこの機会にこれは言っておきたいということがあれば伺っておきたいんですが、何かございますか。はい、どうぞ。

#### ●加藤委員

加藤です。この議題、今の議題についてじゃなくて申し訳ないんですが、5の資料のようなかたちでバスが運営される場合ですが、その場合はヨシヅヤ、西枇杷島の場合はヨシヅヤがメインですが、それがなくなったら遠くなるということについて、私は今、整備されている堤防沿いの水防センターがあるんですが、そこはどちらから散歩されても化粧室も完備されますし、お水もちょっと飲みたい時飲めるような状態なので、この資料5のようなかたちになる時は、その堤防沿いの水防センターもあって西枇杷のまちを通らずに堤防沿いでつくるルートもあったらいいなとちょっと今

思いましたので、話させていただきました。水防センターですと皆さん散歩されて、そこでバスに乗ってお帰りできるということもできると思いますので、そんなこともちらっと考えていただけたらなと思って発言させていただきました。貴重な時間すいませんでした。

●加藤副会長

はい、ありがとうございます。はい、今資料5に対するご意見ということで整理してください。はい、他になにかございますか。あの、この資料5だけじゃなくて全体、あるいはその他、あの今何か資料配られました？これはなにか説明される？ではお願いします。

●西尾委員

愛知運輸局の西尾と申します。もうお昼の時間に入っていますので簡単に説明させていただきたいと思います。今お配りした資料でございますけれども、国の予算の概要を書いた資料でございます。中身は今年度からすでに始まっております新しい支援制度、地域公共交通確保維持改善事業に係わる資料となっております。23年度新設ということでございますので、まだ新しい制度でございます、24年度につきましても、引き続き生活交通が危機に瀕している地域などにおきまして、地域の関係者による議論で作成されました生活交通ネットワーク計画、これに基づいた事業、実施される取り組みに対して支援をさせていただくという、そういう内容になっています。清須市の場合は、先程事務局の方からのご説明がございましたように、今年度までは経過処置というところも含めまして、活性化再生総合事業で事業を行っていただいておりますが、この事業も含めて新たな支援事業に移行してございますので、来年度以降は、まだ確定ではございませんけれども、清須市もこの制度を使っていただくということをご検討いただいているというふうにお聞きをしています。具体的な内容につきましては、この黄色い四角の部分に書いてございまして、バス交通だけではなくて、離島航路でございますとか、航空路でございますとかを含めた運行費の支援をいただきますとか、あるいはバリアフリー化をするための設備整備、あるいは利用環境を整えるための設備整備に対する支援をさせていただきますとか、あるいは地域公共交通を確保維持改善するための計画をつくるための調査、こういったことを支援をさせていただくという内容になってございます。24年度の予算額につきましては、全国で332億円。これはバスだけでなく、他の交通モードも含めてでございますので全額使える誤解はしていただかないようお願いをしたいと思いますけれども、今年度の当初予算が305億円ということでございましたので、若干増えているというふうにご覧をいただけます。実はこの24年度の予算332億円の中にはですね、東日本大震災の被災地関係のですね、取り組みに対する支援額も含まれておりますので、これを差引いたりしますと、ほぼ前年度と同じ額が確保されているという状況になっております。昨年12月24日に閣議決定されましたので、ちょうど良い機会と思ひまして紹介をさせていただきました。ありがとうございます。

●加藤副会長

はい。付け加えるならば、資料4の方で、もしこの制度が使えるのであれば、財源の目途がついたかかってところにこの制度の活用も考えているということも付け加えるんですが、この制度は清須市としてはほとんど使え

ないんじゃないかなというふうに一応考えております。何かございますか。はい、どうぞ。

●小澤委員

終わりがけに申し訳ないです。実際にこのバスを運転をしてみえるドライバーの方にですね、こうした方が良くはないかとかいうことがあれば、誰がとかそういうことじゃなくて、雑談の中で一度会社の方で、気楽な立場でですね、話してもらって改善に繋がるようなヒントがあればぜひ教えていただきたいと思っております。

●加藤副会長

はい、そういうご意見ですがよろしいですか。それからあと、今日つばめ労組の委員長の彌田さんが見えですが、もし今、一言あれば伺っというても構いませんが。よろしいですか。いいですか。

●彌田委員

つばめ労組の彌田と申します。いつも当社の従業員が運転させていただいておりました、大変ありがとうございます。その中で、この会議の冒頭でございました件もふまえてですね、今のご提案にありました懇談会でございます。こちらを催させていただきたいと思っております。それによってなかなか書類の上では気付かない部分、実際に運転している者が気付く部分があると思っておりますので、その旨をですね、しっかり意見聴取して清須市へ資料として提出させていただきたいというふうに考えておりますのでよろしく願います。

●加藤副会長

大変ありがたい取り組み感謝いたします。ぜひよろしく願います。はい、よろしいですか。そうしましたら、いろいろご意見いただきましたので次回それをふまえて、きちんとまた資料を作りまして、充実をした議論ができるようにというふうに思いますので、私もきちんとチェックして臨みたいと思っております。時間が延びておりますけど、事務局にお返しいたします。

●事務局（飯田課長）

はい、長時間にわたりましてありがとうございます。本日ご指摘をいただいたところをふまえてですね、次回会議を2月下旬もしくは3月上旬、年度内にですね、開催をさせていただきたいというふうに考えておりますので、また別途ご案内をさせていただきます。また、先程加藤先生の方からお話があった事前に委員の方々のご意見をお伺いをするように、お手紙を出させていただきましますので、この点についてもご協力をお願いいたします。それでは本日の会議はこれをもって閉会をさせていただきます。どうもありがとうございました。

閉会

問い合わせ先

企画部 企画政策課

052-400-2911 内線4016

---

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 前 田 繁 一

署名委員 谷 野 嘉 一

署名委員 佐 野 富 美 子